



安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	20-0585-8	版	12. 03
発行日	2022/02/23	前発行日	2021/08/30

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3M™ キャピロン™ 非アルコール性皮膚 ワイブ 3343E, 3344E, 3345E, ME3344E

3M スtockナンバー

70-2007-6493-7	70-2007-7078-5	70-2007-8431-5	70-2007-8432-3	70-2007-8433-1
70-2011-8902-7	GH-6206-0445-0	GH-6206-0495-5	JH-2001-7355-9	JH-2001-7650-3
JH-2001-7653-7	JH-2001-8067-9	JH-2001-8068-7	JH-2001-8559-5	JH-2001-8560-3

7000002844		7000030382		7000086403		7100025076		7100025248	
7100025117		7100083302		7010603559		7100225909		7010603600	
7010603601		7010603926		7010603927					

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	医療用製品技術部
電話番号	042-770-3802

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分2
 誤えん有害性： 区分1
 特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3
 水生環境有害性 短期（急性）： 区分1
 水生環境有害性 長期（慢性）： 区分1

GHSラベル要素

注意喚起語
 危険

シンボル

炎 感嘆符 健康有害性 環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P331	無理に吐かせないこと。
P301 + P310	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	60 - 70
イソオクタン	540-84-1	10 - 20
アクリル系ターポリマー	営業秘密	5.0 - 20
ポリフェニルメチルシロキサンコポリマー	70131-69-0	< 5.0

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

応急処置は不要。

眼に入った場合

応急処置は不要。

飲み込んだ場合

無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。 禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気での場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。 漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。 漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。 禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 眼に入れない。 静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。 着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電气的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。 輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管

換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
オクタン	540-84-1	ACGIH	TWA : 300ppm	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護具は必要でない。

皮膚及び身体の保護具

保護手袋は不要。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、呼吸保護具が必要な程度の粉塵ばく露は予想されない。

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

有機ガス及び微粒子用半面形あるいは全面形防毒・防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	液体を含浸したフォームアプリケーションのないワイブ
色	無色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	約 7 [詳細: (液体として)]
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	100 °C [試験方法: ASTMプロトコルに基づく試験] [詳細: (液体として)]
引火点	-10 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	<=1 [試験方法: ASTMプロトコルに基づく試験] [参照基準: エーテル= 1]
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	0.8 %

燃焼点 (上限)	14.1 %
蒸気圧	<= 5,466.2 Pa
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない。
密度	0.78 g/ml [詳細: (液体として)]
比重	0.78 [試験方法: ASTMプロトコルに基づく試験] [参照基準: 水=1]
溶解度	<=0.1 % [試験方法: ASTMプロトコルに基づく試験]
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	適用しない。
発火点	351.7 °C
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	適用しない。
揮発性有機化合物	720 g/l [詳細: (液体として)]
揮発分	88 - 94 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。
火花ないし炎

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質 条件
知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあ

ります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

飲み込んだ場合

化学性（吸引性）肺炎： せき、呼吸困難、喘鳴、血痰及び肺炎などの症状が発現し、死に至ることがある。 胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制： 頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ヘキサメチルジシロキサン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ヘキサメチルジシロキサン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 106 mg/l
ヘキサメチルジシロキサン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
イソオクタン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
イソオクタン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 33.5 mg/l
イソオクタン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ポリフェニルメチルシロキサンコポリマー	吸入－粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 0.5 mg/l

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	ウサギ	刺激性なし
ヘキサメチルジシロキサン	ウサギ	刺激性なし
イソオクタン	ヒト及び動物	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチルジシロキサン	ウサギ	軽度の刺激
イソオクタン	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチルジシロキサン	モルモット	区分に該当しない。
イソオクタン	ヒト	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ヘキサメチルジシロキサン	In vitro	変異原性なし
ヘキサメチルジシロキサン	In vivo	変異原性なし
イソオクタン	In vivo	変異原性なし
イソオクタン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 33 mg/l	13 週
イソオクタン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.6 mg/l	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	呼吸器への刺激	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 33 mg/l	6 時間
ヘキサメチルジシロキサン	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	モルモット	LOAEL 22,900 mg/kg	適用しない。
イソオクタン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	非該当
イソオクタン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
イソオクタン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	適用しない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヘキサメチルジシロキサン	皮膚	肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4 mg/l	13 週
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 33 mg/l	13 週
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 29 mg/l	15 日
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	心臓 内分泌系 免疫システム 神経系 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 33 mg/l	13 週
イソオクタン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.6 mg/l	12 週
イソオクタン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 0.2 mg/l	1 年
イソオクタン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	4 週
イソオクタン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	21 日

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
イソオクタン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS 水生環境有害性（急性）区分 1：水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS 水生環境有害性 長期（慢性）区分 1：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	緑藻類	実験	70 時間	EC50	>0.55 mg/l
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	ニジマス	実験	96 時間	LC50	0.46 mg/l
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	緑藻類	実験	70 時間	EC10	0.09 mg/l
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.08 mg/l
アクリル系ターポリマー	営業秘密		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
イソオクタン	540-84-1	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.4 mg/l
イソオクタン	540-84-1	メダカ	実験	96 時間	LC50	0.561 mg/l
ポリフェニルメチルシロキサンコポリマー	70131-69-0	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ポリフェニルメチルシロキサンコポリマー	70131-69-0	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ポリフェニルメチルシロキサンコポリマー	70131-69-0	ニジマス	推定値	60 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ポリフェニルメチルシロキサンコポリマー	70131-69-0	ミジンコ	推定値	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	実験 光分解		光分解半減期（空气中）	22.5 日 (t 1/2)	非標準的な手法
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	実験 加水分解		加水分解の半減期	120 時間 (t 1/2)	非標準的な手法
アクリル系ターポリマー	営業秘密	データ不足			N/A	
イソオクタン	540-84-1	実験 光分解		光分解半減期（空气中）	8.36 日 (t 1/2)	非標準的な手法
イソオクタン	540-84-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
ポリフェニルメチルシロキサンコポリマー	70131-69-0	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	2.2 % BOD/ThBOD	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	実験 BCF-Carp	56 日	生物濃縮係数	2410	OECD 305C-生態濃縮 魚類
アクリル系ターポリマー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

イソオクタン	540-84-1	実験 BCF-Carp	28 日	生物濃縮係数	540	OECD 305E- 生態濃縮 魚類
ポリフェニルメチルシロキサンコポリマー	70131-69-0	推定値 BCF-ブ ルーギル	45 日	生物濃縮係数	2992	OECD 305E- 生態濃縮 魚類

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3 1 7 5 固体（引火性を有する液体を含むもの）

輸送分類（IMO）：4.1 可燃性固体、自己反応性物質、固体の鈍性化火薬類および重合物質

輸送分類（IATA）：4.1 可燃性固体、自己反応性物質、固体の鈍性化火薬類および重合物質

容器等級：II

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

船舶安全法、航空法：可燃性固体、自然発火性物質、水と接触すると引火性ガスを発生する物質

海洋汚染防止法：環境有害物質

消防法：第二類引火性固体

薬機法医薬品、医薬部外品、化粧品は労働安全衛生法の対象外

主な法規制物質

成分	法規名		
イソオクタン	安衛法（表示・通知） 115（オクタン）	化管法 該当なし	毒劇法 該当なし

16. その他の情報**改訂情報**

セクション1：ストック番号情報 情報修正。

セクション1 : SAP Material Number 情報の追加.
セクション2 : GHS分類 情報修正.
セクション2 : 注意書き - 安全対策 情報修正.
セクション2 : 注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション2 : 注意書き - 保管 情報修正.
セクション5 : 火災時情報 (消火剤) 情報修正.
セクション11 : 吸引毒性の表 情報修正.
セクション11 : 生殖毒性の表 情報修正.
セクション11 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション11 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション11 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション12 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
セクション14 : IATA分類の標準フレーズ 情報修正.
セクション14 : IMO分類の見出し標準フレーズ 情報修正.
セクション15 : 法規名 - 表 情報修正.
セクション15 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。